

巻頭インタビュー

日本人のブラジル移住110周年
—ブラジルと日本の
架け橋として—

大槻 ヴァレリア ハルエさん

ブラジル連邦共和国出身
仙台市若林区在住
ポルトガル語講師

—まず、出身地やご家族について教えてください。

ブラジル最大の都市サンパウロ市出身です。父方は宮城、母方は熊本と、両親ともにルーツは日本で、私は日系ブラジル人として生まれ育ちました。父は写真家で、自分の写真館を持っており、母は父と一緒に写真館の仕事をしていました。7つ下の弟がいます。家族とは主にポルトガル語で話しますが、日本語も交じります。

—ブラジルでは歯科医をされていたと伺いました。

身内に医療関係者はおらず、裕福でもありませんでしたが、親戚の援助やブラジル政府の奨学金を得て歯科大学を卒業し、歯科医になることができました。ブラジルの一般的な状況を考えると、奇跡に近いと思います。大学卒業後は3年程、クリニックで働きました。

—どうして日本に来られることになったのでしょうか？

日本で働いてクリニックの開業資金を貯めようと思ったからです。名古屋市内にあるトヨタ自動車の下請け会社で1年半、溶接の仕事をし、サンパウロ市内に自分のクリニックを開きました。経営は順調で、2つ目のクリニックも開きました。

—順風満帆に見えますが、宮城とどのようなご縁があって来られることになったのでしょうか？経緯を教えてください。

名古屋市内で働いていた時、仙台市に住む父方の親戚に会いに来て、自分のルーツに関する話を聞いて興味が高まりました。宮城野区蒲生出身の祖父は、東京に出たものの関東大震災で被災して全てを失い、一度、仙台に戻りましたが、その後、ブラジルに渡りました。祖父には、ブラジルでコーヒー農園を経営するという夢があったようです。ブラジル帰国後も宮城への思いは募り、宮城県海外研修員の試験を受けたところ合格しました。それで、宮城に来て半年間、日本語を勉強し、東北大学歯学部の小児歯科で研修を受けました。

—その時に、「出会い」があったわけですね。

先輩のブラジル人研修員のいとこの日本人と知り合ったのですが、それが現在の夫です。研修を終えた後、いったんブラジルに帰国してサンパウロ市内で結婚式を挙げ、再び宮城に来ました。当初は日本でも歯科医の仕事をしようと思っていたのですが、日本語の能力の問題や制度の違いから大変難しいことが分かりました。落ち込みましたが、仕方がないので、仙台市内の市民センターで開かれている無料の日本語講座にいくつも通い、日本語を勉強しました。日本語が上達するにつれて自信もつき、自分もポルトガル語を教えてみたいと思うようになりました。

炊き出しを行う大阪のブラジル人の団体を仙台市内の被災地に案内した時の写真。
右から4人目がヴァレリアさん=2011年5月

—生徒はすぐに集まりましたか？

ブラジルの音楽「ボサノヴァ」の流行もあり、生徒は順調に集まりました。音楽に関心がある生徒が多かったので、ブラジルの音楽を紹介するイベントを開くようになり、10年ほど前からは、「ブラジルカフェ仙台宮城」(<http://valeria-cafe.com/>)というグループを主宰し、ブラジルの料理も紹介しています。また、MIA国際理解教育支援事業の講師として、宮城の子ども達にブラジルの遊びや文化を伝える活動も長く行っています。

—話は変わりますが、東日本大震災では様々なご経験をされ、支援に奮闘されたそうですね。

夫の実家が東松島市野蒜にあり、義父母と義兄の家族は津波で家を失いました。そのうち義兄の家族6人とは震災直後から1か月半、仙台の私の家で一緒に生活しました。蒲生の親戚からは、津波の犠牲者が出ました。私自身はブラジルに帰ることもできましたが、そんな状況の中で自分だけ逃げることはできないと思い、残りました。そして、日本国内各地のブラジル人コミュニティから届いた支援物資を避難所に届けたり、ボランティアをしたいというブラジル人の団体を被災地に案内したりしました。依頼を受け、滋賀県でブラジル人にポルトガル語で、震災体験を伝えたこともあります。

—今年は、日本人がブラジルに移住して110周年となる節目の年ですね。

110周年は大きな出来事で、ブラジル国内各地で様々な祭典が行われました。ブラジルでは日本の教育や技術が高く評価され、勤勉な日系人は尊敬されています。日系人はブラジル社会にしっかりと根付きましたが、一方で、日系人の中でも、ブラジル人として生きたい人もいれば、日本の「モノ」を好み、日本人のように暮らしたい人もいて、世代間で大きな考え方の違いが生まれています。

—最後に、抱負を教えてください。

ブラジルのいろいろな面を紹介したいです。父が写真家でしたので、日系人の社会に関する資料がたくさんあります。それらを活用し、日系人のルーツとその社会を少しでも多くの人に知らせたいです。また、カーニバルやアマゾンといったステレオタイプでない、例えばヨーロッパのような街並みなどブラジルの様々な魅力や、世界各地からの移民も含めた様々な人々で構成されるブラジル社会の多文化な面を紹介したいです。

日系ブラジル人…ブラジルに移住して渡った日本人とその子孫。1908年以降、日本人がブラジルに移住し、ブラジルには現在、約160万人の日系ブラジル人がいると言われている。1990年の日本の出入国管理法の改正で、多数の日系ブラジル人が出稼ぎのため日本に来るようになった。日本に住むブラジル人の数は、2017年末時点で約19万人。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2018年10月～11月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2018	S	M	T	W	T	F	S
10		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

2018	S	M	T	W	T	F	S
11					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

主催

会場

時間

申し込み

参加費

電話

FAX

Eメール

ホームページ

10月 OCTOBER

7・12・14・21・28日

瑞巖寺ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

瑞巖寺

10:00～15:00

不要(直接現地へ)

入館料700円は自己負担

http://www.geocities.jp/matsushimagw

7・12・14・21・28日

円通院ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

円通院

10:00～15:00

不要(直接現地へ)

入場料300円は自己負担

http://www.geocities.jp/matsushimagw

8日

国際交流まつり in わたり

国際交流協会わたり

巨理町中央公民館

13:00～15:30

入場無料

022-34-6396

多文化共生シンポジウム in おおさき

宮城県、宮城県人権啓発活動ネットワーク協議会、大崎市、(公財)宮城県国際化協会、(株)大崎タイムス社、(特活)大崎タイムス福祉部

大崎市図書館 多目的ホール

13:30～15:30

無料

022-211-2972(宮城県国際企画課)

022-268-4639

kokusaik@pref.miyagi.lg.jp

CCEチャリティイベント

地球の子ども通信(CCE)

日立システムズホール仙台 交流ホール

14:00～16:00 ※予定

022-376-5382

nra55237@nifty.com

9日

MIA日本語講座初級1・2クラス

(公財)宮城県国際化協会

宮城県仙台合同庁舎 7階

10:00～12:00(毎週火～金)

要(電話・FAX・メール)

24,000円(テキスト代別)

022-275-3796

022-272-5063

mail@mia-miyagi.jp

http://mia-miyagi.jp

MIA日本語講座中級クラス

(公財)宮城県国際化協会

13:00～15:00(毎週火・木)

12,000円(テキスト代別)

※初級1・2クラスと同じ

MIA日本語講座夜間初級1・2クラス

(公財)宮城県国際化協会

18:30～20:30(毎週火)

12,000円(テキスト代別)

※初級1・2クラスと同じ

12日

MIA日本語講座漢字1・2クラス

(公財)宮城県国際化協会

13:00～15:00(毎週金)

7,200円(テキスト代別)

※初級1・2クラスと同じ

13日

第146回例会「イタリア文化の夕べ」

仙台日伊協会

エル・ソーラ仙台 大研修室

14:00～

要(電話・FAX・メール)

一般500円 会員無料

022-255-8331

hkwb577@ybb.ne.jp

14日

歩いて巡る地域歴史散策

～第45回仙台三十三観音巡り第二行程～

第12番～第25番札所

NPO法人楽遊ネットワーク宮城

集合場所:みやぎNPOプラザ・みやぎ婦人会館前(櫓ヶ岡)

8:45集合 9:00出発～15:00頃解散予定

要(電話・FAX・メール)

一般2,500円 会員2,000円

(小冊子・保険料込)

022-261-9869

022-261-0546

eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp

http://www.eikaiwa-sendai.jp/rakuyuu.html

第2回仙台・レンヌ姉妹都市クイズコンテスト

「これであなたもフランスマスター」

仙台日仏協会 アリانس・フランセーズ

仙台国際センター 交流コーナー 研修室

14:00～16:00

要(FAX・メール・来館) ※HP(イベント案内)

より参加申込用紙に記入

無料

022-225-1475

022-225-1407

contact@afsendai.com

http://afsendai.com

17日

申請取次行政書士による外国人のための

入管手続無料相談会

宮城県行政書士会

仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場

13:00～16:00

電話受付または予約なしでもOK

無料

022-261-6768

022-261-0610

18日

アフリカから日本列島へー縄文時代始まる

アフリカ・セミナーの会

仙台国際センター 研修室

10:00～12:00

不要

1,000円

022-362-7907

19日

魯迅先生逝世82周年碑前祭と

留学生昼食交流会

仙台魯迅先生顕彰会

(碑前祭) 仙台市博物館「魯迅の碑」前

(交流会) 銀座ライオン一番町店

(碑前祭) 10:30～

(交流会) 碑前祭終了後、12:00～ ※予定

(碑前祭) 不要 (交流会) 要(10月15日まで)

に電話・FAX・メール)

(碑前祭) 不要 (交流会) 会費3,000円

022-274-3811

jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp

海外からの研修員と防災ゲーム"EVAG"を

通して避難を体験しよう!(日英通訳付)

JICA東北/運営:アイ・シー・ネット株式会社

JICA東北

12:30～16:30

要(URLより)

無料

https://docs.google.com/forms/d/1yxtGkJKVldIquJq9xI85zt37cBNygNg

RhAVpE3u5Z0s

映画"ソニータ"を見て世界の女の子を応援し

よう!(JICAボランティア秋募集・国際ガールズ

デー関連イベント)

JICA東北

JICA東北

19:30～21:00

要(電話・メール・FAX) ※先着順、定員40名

無料

022-223-4772

022-227-3090

jicathic-jv@jica.go.jp

https://www.jica.go.jp/tohoku/even

t/index.html

24日

セミナー「誰ひとり取り残さないために被災生

活の課題を乗り越える」(日英通訳付)

JICA東北/運営:アイ・シー・ネット株式会社

JICA東北

10:00～16:00

要(URLより)

無料(ランチボックス希望者は500円)

https://docs.google.com/forms/d/118KcOOxkbG-L2pBnu5jp1hienR01tN

X9o1OmoQZ_Xio

お知らせ

「倶楽部MIA」、「MIA多言語かわら版」(日・英・中・韓・ベトナム・インドネシア・ネパール)の最新号及びバックナンバーは、WEB上でご覧いただくことができます。

倶楽部MIA

検索

27日

文学アトリエ「ブルーストとの対話」(続)
 仙台日仏協会 アリانس・フランセーズ
 13:00~14:30
 要(電話・FAX・メール・来館)
 無料
 ※10月14日と同じ

4日

第51回地球の子ども通信国際交流事業
 「ラオスの子ども達による仙台ホームステイプログラム」ホストファミリー説明会・研修会
 地球の子ども通信(CCE)
 仙台市桂市民センター 第一会議室 ※予定
 10:00~12:00
 ※10月8日と同じ

15日

忘れ得ぬザンビアの愛しき人々
 アフリカ・セミナーの会
 ※10月18日と同じ

17日

ボジョレー・パーティー
 仙台日仏協会 アリانس・フランセーズ
 ワインハウス Bouchon
 18:00~20:00
 要(電話・FAX・メール・来館)
 4,000円
 ※10月14日と同じ

21日

申請取次行政書士による外国人のための
 入管手続無料相談会
 宮城県行政書士会
 ※10月17日と同じ

4・9・18・23・25日

瑞巖寺ボランティアガイド
 松島善意通訳者の会
 ※10月の瑞巖寺ボランティアガイドと同じ

4・9・18・25日

円通院ボランティアガイド
 松島善意通訳者の会
 ※10月の円通院ボランティアガイドと同じ

10日

2018年度NPO法人アイカス公開講座
 「模擬授業から見つける授業のヒント」
 NPO法人アイカス国際都市仙台を支える
 市民の会(ICAS)
 仙台国際センター 交流コーナー 研修室
 13:30~16:00(受付13:00~)
 要(メール)
 ※名前、住所、電話番号、所属を連絡
 一般500円、会員・賛助会員300円
 hirokotoko1003@yahoo.co.jp

「外国人のための法律相談会」のお知らせ



仙台弁護士会とMIAでは、昨年度に引き続き、県内にお住いの外国人のために法律相談会を開催します。

相談料は無料で、必要に応じて通訳サポーターの紹介も行います。弁護士からの専門的なアドバイスを必要としている方は、ぜひご相談ください。

- 主催 仙台弁護士会
- 共催 宮城県国際化協会(MIA)
- 対象 県内にお住いの外国人またはその家族
- 受付期間 2018年10月15日(月)から31日(水)までの平日
 ※お申込みを受け付けてから、実際に相談する日時・場所を決めます。

5. 申込先 ※いずれも平日の10:00~15:00

●日本語でのお申込み
 仙台弁護士会法律相談センター：022-223-2383

●外国語でのお申込み
 みやぎ外国人相談センター(宮城県国際化協会MIA内):
 022-275-9990

6. 相談料 無料

7. 通訳サポーター

日本語での相談が難しく、自分で通訳者を手配できない方は、MIAで通訳サポーターを紹介することが出来ます。

「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス」が開催されました。

今年も外国出身の親子のために「進路ガイダンス」が開催されました(主催:実行委員会、共催:MIA・SenTIA)。

前半は、教育委員会の方からの高校入試の仕組みについての説明や、高校生や保護者からの受験の体験談の発表などがあり、後半は、個別の相談の時間や、保護者同士、子ども達同士の情報交換会の時間が設けられました。

外国出身の親子、学校関係者、支援団体が一堂に会するこのガイダンスは、さまざまな「つながり」を作るきっかけとなっており、その後のサポート活動についての話し合いや、支援者間、保護者間、子ども達同士のネットワークづくりの場ともなっていました。

この進路ガイダンスに合わせて、宮城県の高校入試の仕組みなどに

ついて解説した「進路ガイドブック」の改訂版が作成されています(中国語、韓国語、英語、タガログ語、スペイン語版あり)。MIAで配布しているほか、ガイダンス実行委員会のウェブサイトからダウンロードすることもできますので、是非ご活用ください。

http://shinro-miyagi.jimdo.com/進路ガイドブック/
 送料をご負担いただければ、郵送いたします。詳しくはMIAにお問い合わせください。

※1言語1部ずつのみの配布となりますので、ご了承ください。



JICA東北からのお知らせ

所在地 〒980-0811仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル20階
 TEL 022-223-4772 FAX 022-227-3090 E-mail thictpp@jica.go.jp JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>
 ※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています)

JICAボランティア(青年海外協力隊・シニア海外ボランティア)2018年度秋募集

秋募集期間：2018年10月1日(月)~11月1日(木)

★説明会キャラバン(@TKP仙台西口ビジネスセンター)

2018年10月6日(土)11:00~、14:30~の2回

(内容は両回とも同じ)

詳細・ご予約はこちらから→

<https://www.jica.go.jp/volunteer/seminar/place/>

★聞こう!知ろう!青年海外協力隊(@JICA東北)

2018年10月15日(月)~10月19日(金)18:00~21:00

(日中も対応できます)

応募を考えている方、協力隊OB・OGの話を聞いてみたい方、お気軽にお越しください。個別に対応いたします。(予約不要、ご希望の日時がある方は事前に下記へお知らせください)

詳細はこちら→

<https://www.jica.go.jp/tohoku/event/2018/ku57pq00000je7o9.html>

★個別相談(いつでも受付!)

問合せ JICA東北・ボランティア担当 前田/佐藤

022-223-4772 jicathic-jv@jica.go.jp



このコーナーでは、MIA宮城県国際化協会の最近の動きをお知らせいたします。
いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 ✉mail@mia-miyagi.jp まで。お気軽にどうぞ。

MIA日本語講座2018年第2期開講!

10月からMIAの日本語講座が始まります。身近に日本語を勉強したい外国人がいいたら、ぜひご紹介ください。日本語のほか、英語、中国語、韓国語、ベトナム語のチラシも用意しています。

クラス	曜日	時間	期間	テキスト	受講料	定員
初級1・2	火～金	10:00～12:00	10月9日(火)～2月6日(水)	『日本語初級1大地』 『日本語初級2大地』	¥24,000 ※テキスト代別	初級1・2 各20人
中級	火・木	13:00～15:00	10月9日(火)～1月31日(木)	『中級へ行こう 日本語の文型と表現55』	¥12,000 ※テキスト代別	20人
漢字1・2	金	13:00～15:00	10月12日(金)～3月1日(金)	『使って覚える楽しい漢字1』 『どどんつなげる漢字練習帳 中級』	¥7,200 ※テキスト代別	漢字1・2 各20人
夜間初級1 夜間初級2	火	18:30～20:30	10月9日(火)～3月5日(火)	『日本語初級1大地』 『日本語初級2大地』	¥12,000 ※テキスト代別	初級1・2 各15人

多文化 なトピック

感染症対策と通訳

東日本大震災後、宮城県は労働力不足などを背景として日本語学校、専門学校の留学生や技能実習生が急増しています。この中には結核に感染している状態(肺に結核菌があっても必ずしも発病するわけではなく、この段階では他のひとに伝染することはありません)で来日し、その後十分な栄養摂取ができていなかったり、睡眠の不足などにより悪化してしまうケースがあります。結核の治療は長い期間、定期的に薬を服用する必要があるため、また法律に基づいて治療、管理が行われるため、病院や保健師からの指導が正しく伝わらないと病状を悪化させかねません。

MIAは4年前から仙台市保健所と契約を結んで、外国人の感染症患者などに対する通訳を派遣しています。また、宮城県でも県内の保健福祉事務所で通訳が必要な案件が生じたときのために通訳費用が予算化されています。

全国的にも外国人の特に若年層の結核罹患率が増えていることを受け、来日前の結核検査を義務付けるなどの対策がとられつつあります。

なお、感染症の現場に通訳を派遣するときは、必要に応じてN95と呼ばれる感染を防止するマスクを着用するなど万全な対策をとっていますし、感染症を正しく理解するため各種研修への参加をMIA外国人支援通訳サポーターに呼び掛けています。

サポーターの声

チャンティグエット ミンさん MIA外国人支援通訳サポーター (ベトナム語)



東北大学経済学研究科の会計大学院1年生です。日本に来て4年になります。今年5月に、通訳サポーターに登録しました。

通訳現場は結核関係がほとんどで、これまでに、日本人のお医者さんが結核に感染したベトナム人を診察したり、日本人の保健師さんが服薬指導をしたりするのを通訳しました。ベトナムでは結核は重い病気だと考えられているので、ベトナム語で話すときは患者さんが不安にならないように慎重に言葉を選びます。また、日本では当たり前のもので、ベトナムではそうでないもの、例えば「お薬手帳」については、それが何を目的とするもので、どのように利用するかなども説明するようにしています。

難しいのは、言葉ではなく、患者さんの気持ちにどう向き合うかだと感じます。個人的なことなど、患者さんが通訳されることを望まない内容を通訳しなければならない場合、「治療に必要だから」と断ってから通訳しますが、いつも苦慮します。嬉しいこともあります。初めて日本に来て、日本語を理解できない状態で結核の治療を受けていたベトナム人の通訳をしたときには、とても感謝され、自分が役に立ったことを実感しました。日本語とベトナム語の両方が話せて、両方の文化が分かる私だからできることがあると感じています。今後も、自分に与えられた役割をしっかりと果たしたいと思います。

「MIA 外国人支援通訳サポーター」とは…

県内に暮らす外国人が、安心して医療や公的なサービスが受けられるよう、保健所や医療機関、行政機関などで通訳活動を行うものです。「MIA外国人支援通訳サポーター」への登録をご希望の方は、MIAまでお問い合わせ下さい。

賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費
個人会員/1口 3,000円
団体会員/1口 10,000円
- 賛助会員の特典
①協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)
- ②当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免
- ③個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引
(株)JTB東北仙台支店 宮交観光サービス(株)
- ④企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び当協会の外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供
- 入会方法
①本協会あて御連絡ください。
②所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 **MIA** vol.99

編集・発行
公益財団法人 宮城県国際化協会
〒981-0914
仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp/



再生紙を使用しています。